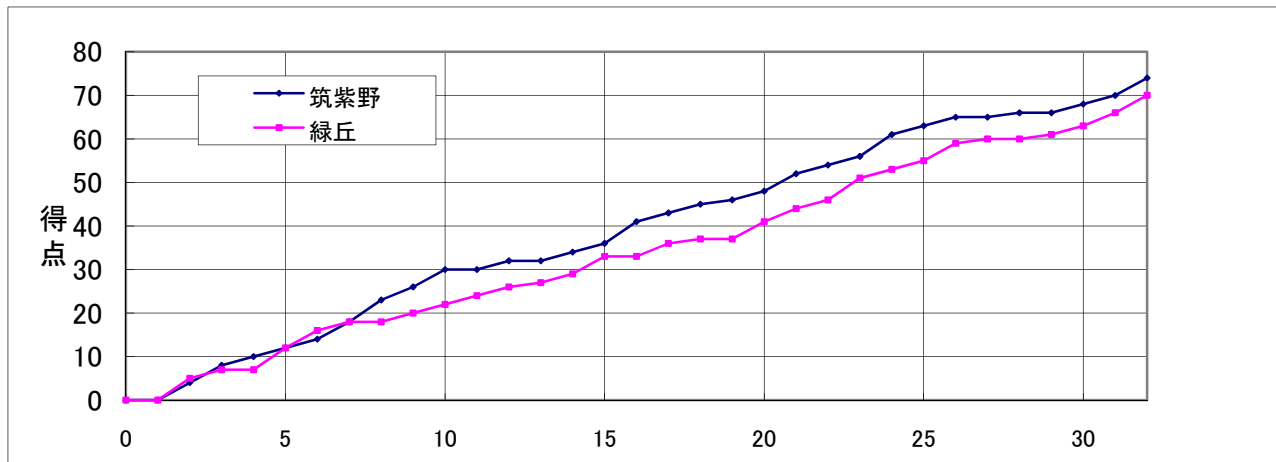


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	A3	12:40	男子1回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	筑紫野 74 (福岡1位) ○	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	23	—	18	18	—	15	20	—	20	13	—	17	—	—	—
					23	—	18												
18	—	15																	
20	—	20																	
13	—	17																	
—	—	—																	
会場	大分県立総合体育館	70 緑丘 ● (鹿児島2位)																	

主審 甲斐 誠 副審 渡辺 和孝



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 帯刀 滉暉 (C)	20	2	6	2	0
5	* 砥綿 啓伍	22	0	11	0	5
6	* 野中 亮吾	9	0	4	1	1
7	* 中村 文紀	2	0	0	2	2
8	添田 拓斗	0	0	0	0	1
9	原田 成斗	—	—	—	—	—
10	鐘江 啓斗	0	0	0	0	0
11	市川 恭平	—	—	—	—	—
12	* 濱田 健太	19	0	8	3	4
13	安藤 琢郎	2	0	1	0	5
14	瀬戸 洸平	—	—	—	—	—
15	田代 浩太郎	—	—	—	—	—
16	久松 龍孔	—	—	—	—	—
17	榊 洸哉	—	—	—	—	—
18	野中 貴仁	—	—	—	—	—
コーチ 後藤 かおる		/	/	/	/	/
合計		74	2	30	8	18

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
12:36	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 西田 貴星 (C)	20	0	9	2	3
5	* 西村 拓朗	10	1	3	1	2
6	* 竹ノ下 大樹	14	0	5	4	4
7	川畑 大和	—	—	—	—	—
8	河野 秀昭	0	0	0	0	0
9	義山 龍希	—	—	—	—	—
10	* 佐多大輝	17	5	1	0	1
11	加藤 快	—	—	—	—	—
12	和田 大樹	—	—	—	—	—
13	東 秀	—	—	—	—	—
14	* 小山 浩輔	9	0	3	3	2
15	福崎 崇裕	—	—	—	—	—
16	佐保 綾哉	—	—	—	—	—
17	小原 朔也	—	—	—	—	—
18	石川 真聖	—	—	—	—	—
コーチ 米澤 保志		/	/	/	/	/
合計		70	6	21	10	12

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

大会第3試合は、春季九州大会優勝の福岡県代表筑紫野中に、鹿児島第2代表緑丘中が挑む。立ち上がり、緑丘中はハーフマンツーマン、筑紫野中はオールコートマンツーマンでスタート。筑紫野中#5砥綿のドライブインに対し、緑丘中は、#10佐多の3Pで応戦。その後、筑紫野中は、#7中村のドライブや#12濱田のジャンプシュート、#5砥綿の連続シュートで得点を重ねる。一方緑丘中は、#4西田から#6竹ノ下へのあわせや、#10佐多の3P、#14小山の連続ジャンプシュートで加点。両チームの持ち味の出したオフェンスが展開される。終了間際、筑紫野中#4帯刀の連続スティールや3Pで差を開き、23-18で1Qを終了。

2Q、緑丘中は#6竹ノ下のリバウンドシュートやジャンプシュートで加点するが、バスマスから筑紫野中に走られ、なかなか波に乗ることができない。緑丘中#4西田の1on1やアシストパスが決まり始め、残り3分34秒、32-26になった時点で筑紫野中がタイムアウトをとる。その後、緑丘中は#5西村から#6竹ノ下のあわせのプレーや、#5西村のスティールで流れをつかもうとするが、終盤、筑紫野中#12濱田のジャンプシュートや、#6野中のドライブイン、#4帯刀の3Pが決まり、41-33筑紫野中8点リードで前半が終了。

筑紫野中が2-1-2ゾーンディフェンスに変えた中、緑丘中#10佐多の3Pで後半がスタートする。その後、筑紫野中は3連続スティールで得点。緑丘中は速攻を試みるがうまく得点に結びつかない。緑丘中は#4西田のバスケットカウントやリバウンドシュート、#10佐多の3Pで流れをつかもうとする。一方筑紫野中は、#12濱田の3Pで応戦し、残り1分20秒、54-49筑紫野5点リードで緑丘中がタイムアウトを取る。緑丘中は#4西田がジャンプシュートとリバウンドシュートを決め得点差を縮めようとするが、筑紫野中#12濱田がフリースローを含む連続7得点で反撃を仕掛ける。

4Q、はやめに得点差を縮めたい緑丘中だが、筑紫野中は#5砥綿が冷静にゲームメイクをしていく。緑丘中は#4西田からのアシストパスを#10佐多や#14小山が確実に得点に結び付けていく。残り5分40秒で得点は65-59となる。筑紫野中はファイブアウトし、ガード#7中村から冷静に攻撃を組み立てようとする。このまま逃げ切りたい筑紫野中だが、3分19秒でチームファウルが5つになる。ファールトラブルの筑紫野中は、ディフェンスが甘くなりカウントを許すが、連続してリバウンドからの速攻が決まり、リードを広げる。タイムアウト後、緑丘中も得点を重ね、残り57秒で70-67となり、この試合最少得点差となる。残り27秒、4点リードの状況で筑紫野中タイムアウト。残り7秒で、筑紫野中#5砥綿が確実にシュートを決め、試合を決めた。敗れはしたものの、最後まで自分たちの持ち味をだしたバスケットを展開した緑丘中には好感が持たれた。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063 記載者 池田、吉田 (所属) 大分県中体連バスケット専門部